

令和 6 年度 順天堂大学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）点検・評価結果

健康データサイエンス学部

点検・評価項目	点検結果（コメント等）	評価
A : 履修状況 ・履修者数・履修率、目標の達成状況 ・学生の履修を高めるための取組 ・学生の学修成果の把握	● 当学部では 20 の科目が対象となる。当学部においてはこれらの科目は教育の根幹をなすものであり、すべてが必修としている。このため履修率はほぼ 100%となっている。	S
B : プログラムに対する学生の評価 ・学生の理解度、満足度は十分か ・後輩他への推奨度	● 全般的な理解度、満足度は高い。一方で、一部高度な科目に関しては理解度、満足度とも低下する傾向がある。難易度の上昇にしたがって理解度が低下することは避けられないが、さらなる工夫が必要。	S
C : プログラムの構成・内容、指導の工夫 ・学ぶ楽しさ、学ぶ意義を教える授業となっているか ・内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となっているか ・学生の理解やスキルの獲得を助けるための工夫	● 多くの授業で、実データを用いた演習を導入する、十分な演習時間を確保するなど、学生の興味を高めるための工夫が行われており、学生の評価も一般に高い。一方で、難易度の高い一部の科目においては評価が低くさらなる工夫が必要である。	A
D : 質問・相談等への対応 ・学生からの質問・相談に対応する体制は確保されているか ・授業課題や学生の参加に対し、効果的なフィードバックを行ったか。	● 多くの授業で質問のための時間をとるなど、工夫が行われている。全般的には、肯定的評価が 98% と高い。一方で、一部の科目においては肯定的評価が 70% をきるものもあり、より高度な質問対応の体制を整備する必要がある。	A
E : 修了生の進路・評価 ・教育プログラム修了者の進路・活躍状況	● プログラム開始 1 年目であり、修了生が卒業していない。今後、各種アンケートを通じてプログラム修了生の進路、活躍状況等の情報を把握し、評価することとする。	F
F : 学外からの評価 ・プログラム修了者に対する企業等の評価 ・教育プログラム内容・手法等に関する外部意見	● 現時点では、本プログラムに対する外部意見を把握できていない。今後、本学全体の「外部評価プロセス」を活用しながら、本プログラムの妥当性・有効性に関する外部意見を聴取することとする。 ● 数理・データ科学教育研究センターで企業と連携したコンペティションやセミナー等を企画する予定であり、そうした機会を通じて企業から本プログラムの評価を聴取することとする。	F

【評価の基準】 S : 高水準にある/目標以上の成果があった、 A : ある程度の水準にある/ある程度の成果があった、 B : 不十分な水準にある/改善が必要である、 F : 判断材料の不足により判断できない